

## 令和4年度よなご大平園事業計画

### 1. 施設理念

- ・ ノーマライゼーションの実現及びセーフティネットの一翼を担う施設
- ・ 地域の財産となる施設

### 2. 施設方針・テーマ

#### (1) 施設方針

- ・ ご利用者への懇切、丁寧、誠実な対応
- ・ 安全管理とコンプライアンスの徹底
- ・ 人間力の強化による柔軟な発想と行動

#### (2) テーマ

『ご利用者の満足・ご家族の安心・地域の信頼・笑顔の職場』

### 3. 実施事業及び定員

(1) 救護施設	定員70名
(2) 就労継続支援B型事業	定員25名
(3) 生活介護事業	定員15名
(4) 日中一時支援事業	定員15名
(5) 共同生活援助事業	定員14名

### 4. 重点目標

- ・ 多様な障害や課題を持つ利用者のニーズに沿ったサービスを提供
- ・ 職員個々のレベルアップにより「やりがい」のある職場環境の構築
- ・ 地域の社会資源との連携を密にし社会福祉法人としての責務を果たす

#### (1) 人材育成と職場定着

##### ◆ 個々の人間力強化と専門性の向上を図りチーム力を高める

- ① Web研修の活用を含め各種研修会へ積極的に参加し専門性の向上を図る。
- ② 職員間のサポート制度やOJTを充実させ職員の育成を図る。
- ③ 自由な発想力と個々の能力を発揮し業務の効率化を進める。
- ④ 「聴く・伝える・考える・感じる」社会人としての基本動作の向上。

#### (2) 利用者へのサービス提供(顧客満足・質の向上)

##### ◆ 自己決定と選択を尊重した良質で安心・安全な支援の継続

- ① 常に利用者の立場に立った適切な判断と対応。
- ② 利用者主体の「個別支援計画」の作成と実践。
- ③ 意見や苦情に対して速やかに対応し業務改善に繋げる。
- ④ 個々の能力や障がい特性に配慮した作業の提供。

(3) リスク対策(感染・安全・災害等)

◆ 利用者・職員の安全対応策の検討と実践

- ① 感染症の蔓延防止と発生時の業務継続について再考。
- ② 社会のルール関連法令順守の重要性の確認と共有。
- ③ 各種災害(防犯・事故)に備えた行動確認と教育訓練等の実施。
- ④ 施設内外の環境整備及び作業環境の安全対策の実施。

(4) 施設・設備整備

◆ 多様化するニーズに対応可能な設備・備品の整備と更新

- ① 利用者個々の特性・能力に配慮したハード整備と備品等の更新。
- ② 塩害・老朽化等の対応は優先順位が高いものから順次対応。
- ③ 「デジタル社会」に対応可能な先進技術導入の模索。
- ④ 災害時においても事業継続可能な設備・備品の維持管理。

(5) 地域連携・社会貢献

◆ 地域における福祉・生活課題の改善に繋がる活動の推進

- ① 社会福祉協議会等の福祉構成機関との連携体制の強化を図る。
- ② コロナ禍における新たな取組みを模索し福祉の普及と啓発を進める。
- ③ 施設周辺の定期的なクリーン活動等のボランティア活動の実施。
- ④ 実習生等の受け入れにより施設内の活性化と施設の理解を深める。

(6) 経営管理

◆ 安定稼働と適正な予算執行管理による健全経営の維持継続

① 稼働目標

- ・ 救 護           : 稼働率 106%  
                          月初定員 110%/77 名
- ・ 就労B           : 25.0 名/日
- ・ 生活介護       : 14.5 名/日
- ・ 日中一時       : 8 名/日
- ・ GH             : 13.9 名/日

- ② 多様な作業の確保と安定した仕事量の確保。
- ③ 徹底した毎月の支出管理による予算執行管理。

5. 新規事業

なし